

- あ**
- **ISO 55001【あいえすおー55001】** ISOは国際標準化機構（International Organization for Standardization）の略で、さまざまなモノやサービス、仕組みなどを標準化することで、世界中でのやりとりをやすくしている組織であり、この組織によって定められた国際規格をISO規格という。ISO 55001は、アセットマネジメントの国際規格であるISO 55000シリーズの核となる「要求事項」と呼ばれる規格で、下水道や道路、鉄道、通信といった社会インフラに関わる民間企業や地方公共団体等が、その社会インフラの機能を持続的に発揮していくために、どのような組織、責任分担、方法で仕事をするべきかを定めている。
 - **ICタグ【あいしーたぐ】** 物体に取り付け、その物体の識別に利用される微小なICチップのこと。その物体の識別コードなどの情報が記録されており、外部からこれを読み出して使用する。外部との通信手段には、電波などの非接触式の手段を持つものが一般的になっている。
 - **ICT【あいしーていー】** 情報通信技術（Information and Communication Technology）のこと。近年のコンピューターやネットワークに関する技術発展は目覚ましく、下水道分野においてもICTを活用した質の高い事業展開が期待されている。
 - **アクセシビリティ【あくせしびりてい】** 「近づきやすさ」や「利用しやすさ」のことで、年齢や身体障害の有無に関係なく、誰でも必要とする情報やサービスに簡単にたどり着け、利用できること。
 - **アセットマネジメント【あせつとまねじめんと】** 組織の持つリスクと提供するサービス、サービス提供やリスク削減に必要な費用のバランスを取りながら、組織の持つ資産を活用して、組織を最適に、持続可能に運営する活動のこと。
 - **アセットマネジメントシステム【あせつとまねじめんとしすてむ】** アセットマネジメントに取り組むために必要となる様々なツールや技術手法などを統合し、整理した仕組み全体のこと。
- い**
- **一般会計【いっばんかいけい】** 地方自治体の会計の中心となるもので、行政運営に係る収入（地方税や地方交付税など）と経費（福祉、教育、道路など）を扱う会計のこと。なお、仙台市の下水道事業は、地方公共団体が直接経営する公営企業会計を適用しており、一般会計の収入・経費と区別して運営されている。
- う**
- **雨水吐き口【うすいはきぐち】** 合流式下水道において、雨天時に一定量を超えた下水を分水し、直接、河川などの公共用水域に放流するための施設。
 - **雨水流出抑制施設【うすいりゅうしゅつよくせいせつ】** 浸水被害の軽減を図るため、下水道管に雨水が一気に流れ込まないように、発生する雨水を貯留したり、地中へ浸透させる施設のこと。
 - **渦流式水面制御装置【うずりゅうしきすいめんせいぎょそうち】** 合流式下水道の雨天時越流水に含まれる夾雑物を除去するため、既存の雨水吐き室に設置される装置のこと。渦巻き流を発生させ、夾雑物を汚水流出管に取り込むことにより、公共用水域への流出を抑制することができる。
- え**
- **AI【えーあい】** 人工知能（Artificial Intelligence）のこと。
 - **AE法【えーいーほう】** Acoustic Emission法の略。設備の状態監視技術の一つで、固体が塑性変形または破壊する時に放出する弾性波（AE波）を観測し、材料の破壊過程を解析する手法のこと。
 - **SDGs【えすでいーじーず】** 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のこと。2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っており、SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものである。
- お**
- **汚濁負荷量【おだくふかりょう】** 水質汚濁の原因となる物質の総量のこと。
 - **温室効果ガス【おんしつこうがす】** 太陽光で暖められた地表から外へ向かう赤外線を熱として吸収し、地球から宇宙への放熱を妨げる性質がある気体のこと。主なものとして二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）などがある。
- か**
- **合併処理浄化槽【がっぺいしよりじょうかそう】** 生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るために個人住宅等に設置する汚水処理施設。本市が設置・管理する公設・公管理のものと、個人等が設置・管理するものがある。
 - **環境基準点【かんきょうきじゅんてん】** ある水域の水質を代表する地点で、環境基準の維持達成状況を把握するための測定点のこと。
- き**
- **夾雑物【きょうざつぶつ】** 下水に含まれる固形物で、管路内の堆積物の原因となる物質のこと。
 - **夾雑物除去装置【きょうざつぶつじょきょそうち】** 合流式下水道の雨天時越流水に含まれる夾雑物を除去するために雨水吐き室等に設置される装置で、代表的なものに渦流式水面制御装置などがある。
 - **共同排水設備設置補助制度【きょうどうはいすいせつびせつちほじょせいど】** 一定の条件を備えていれば、幅員が2.7メートル未満の私道や他人の土地を通して共同で排水設備を設置する場合に、工事費を補助する制度。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急輸送道路【きんきゅうゆそうどうろ】地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点を相互に連絡する道路のこと。
く	<ul style="list-style-type: none"> ● 草の根技術協力事業【くさのねぎじゅつきょうりょくじぎょう】 NGOや自治体、大学等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業のこと。なお、NGOとはNon-Governmental Organizationの略で、国際協力に携わる非政府組織、民間団体をいう。 ● グリーンインフラ【ぐリーんいんふら】 コンクリート等の人工構造物による従来型の都市基盤（グレーインフラ）に対して、良好な景観形成や雨水の貯留・浸透、ヒートアイランド現象の緩和など、自然環境が持つ多様な機能に着目し、それを都市基盤として活用するという考え方。
け	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水熱エネルギー【げすいねつえねるぎー】 下水や下水処理水が持つ熱エネルギーのこと。下水や下水処理水は外気温に比べて温度変化が小さく安定しているため、地域冷暖房等の熱源としての利用が期待されている。 ● 減価償却費【げんかしょうきやくひ】 将来にわたって利用する資産（建物や機械設備など）を取得したときに、その取得費用を一括計上せず、資産の耐用年数にわたって分割して計上することを減価償却といい、その分割された費用を減価償却費という。 ● 建設発生土【けんせつはっせいど】 地表面を掘削した際に生じる土など、建築工事や土木工事などに伴い副次的に発生する土のこと。
こ	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共下水道【こうきょうげすいどう】 主として市街地における下水を排除・処理するための下水道。 ● 更生工法【こうせいこうほう】 道路などの地表面を掘削することなく、破損等によって機能が損なわれた下水管の機能を回復させ、また、耐震性を向上させるための工法のこと。 ● 合流式下水道【ごうりゅうしきげすいどう】 汚水及び雨水を同一の管路で排除する方式の下水道のこと。合流式下水道では、雨天時において未処理汚水が雨水とともに公共用水域へ排出されるため、水質汚濁や悪臭の発生、公衆衛生上の観点などから近年大きな問題となっている。 ● 誤接続【ごせつぞく】 接続させてはならない異種の配管を、直接あるいは間接的に、誤って接続すること。分流水下水道においては、宅内の雨水排水設備を誤って汚水管に接続してしまう場合があり、不明水の原因の一つとなっている。
さ	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギー【さいせいかのうえねるぎー】 石油や石炭などの化石エネルギーとは異なり、エネルギー源として永続的に利用できるものと認められるもの。具体的には、太陽光、風力、水力、バイオマスなどがある。
し	<ul style="list-style-type: none"> ● 市街化区域【しがいかくいき】 すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のことで、都市計画法に基づき指定される。 ● 私道公共下水道設置制度【しどうこうきょうげすいどうせつちせいど】 一定の条件を備えている場合に、市費で私道に公共下水道を整備する制度。 ● 資本的収支【しほんてきしゅうし】 いわゆる設備投資に係る収入と支出のこと。例えば、収入は企業債や国庫補助金など、支出は設備の建設改良費や企業債償還金などである。 ● JICA【じゃいか】 国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）のこと。独立行政法人国際協力機構法に基づいて設立された外務省所管の独立行政法人。政府開発援助（ODA）の実施機関の一つであり、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的としている。 ● 収益的収支【しゅうえきてきしゅうし】 営業活動に伴って年度内に発生する収入と支出のこと。例えば、収入は下水道使用料や他会計負担金など、支出は設備の維持管理費や人件費などである。 ● 10年確率降雨【じゅうねんかくりつこうう】 平均的に見て10年に1回の割合で起きると考えられる降雨を単位時間あたりの最大降雨量で表したものの。 ● 取得価額【しゅとくかがく】 資産の取得に要した費用に、その取得に附帯して生じた費用を加えたもの。例えば、土地の場合には、土地の購入代金に、測量費や整地費など、附帯して生じた一切の費用を加えたもののこと。 ● 除害施設【じょがいしせつ】 事業場において有害物質を含んだ排水を下水道管へ流す前に、下水排除基準に適合させるために排水を処理する施設のこと。 ● 振動法【しんどうほう】 設備の状態監視技術の一つで、回転系機器で発生する周期性のある振動を計測し、振動の変位や速度、加速度のパラメータにより評価することで設備の状態を検査する手法のこと。
す	<ul style="list-style-type: none"> ● 水洗化工事資金融資あっせん制度【すいせんかこうじしきんゆうしあっせんせいど】 くみ取り改造・浄化槽切替え工事を行う住宅（店舗兼用可）の所有者または家主の承諾を得た借家人で税滞納等のない方に対し、無利子で融資をあっせんする制度。 ● ステークホルダー【すてーくほるだー】 本市下水道事業においては、市民、企業、国、都道府県、職員などの利害関係者のこと。
せ	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台市汚水処理適正化構想【せんだいしおすいしよりてきせいかこうそう】 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的として、地域の特性に応じて集合処理と個別処理の汚水処理手法について区域設定したものの。

た	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐用年数【たいようねんすう】 固定資産がその本来の用途に使用できるとされる年数のこと。 ● 他会計負担金【たかいはけいふたんきん】 一般会計などの下水道事業会計以外の会計からの負担金のこと。
ち	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域下水道【ちいきげすいどう】 仙台市下水道条例に規定する住宅団地における汚水を排除・処理するための施設で、本市が管理しているもの。地域下水道という名称だが、環境省が所管する浄化槽法による施設である。 ● 長期前受金戻入【ちようきまうけきんれいにゆう】 将来にわたって利用する資産（建物や機械設備など）を取得したときに、その財源に国庫補助金等が充当された場合には、その国庫補助金等は収入として一括計上せず、資産の耐用年数にわたって分割して計上され、その分割された収入を長期前受金戻入という。減価償却費と対になるものである。 ● 長寿命化対策【ちようじゅみょうかたいさく】 施設の一部の再建設あるいは取り替えを行うことで、耐用年数の延伸に寄与する行為のこと。
て	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインマンホール【でざいんまんほーる】 ご当地マンホールともいう。下水道のマンホール蓋に自治体独自のデザインを取り入れたもの。様々な自治体で実施しており、ご当地マンホールとして旅行者の観光目的の一つになるなど、シティセールスのアイテムとして注目を集めている。 ● デフレーター【でふれーたー】 ある価格を異なった時点で比較するとき、その間の物価変動による影響を除いた実質値を算出するために用いられる物価指数のこと。 ● TVカメラ調査【てれびかめらちようさ】 TVカメラを搭載した機材を用いて下水道管内部の状況を調査する方法のこと。下水道管は地下に埋設されている上、小さいものでは口径が200mm程度であることから、TVカメラを搭載した小型の自走式ロボットによって調査を行っている。
と	<ul style="list-style-type: none"> ● 陶管【とうかん】 粘土を主成分材料として焼成した管で、耐酸・耐アルカリ性に優れ、摩耗にも強いが、衝撃に弱い特徴を持つ。現在はヒューム管などの鉄筋コンクリート管や硬質塩化ビニル管が主流となっているが、古くに整備された地区等の下水道管には陶管も多く使用されている。 ● 特定事業場【とくていじぎょうじょう】 法令によって特別に指定された排水の水質規制が必要な施設、すなわち特定施設を設置している事業場のこと。下水道に関する特定施設としては、水質汚濁防止法に規定する特定施設とダイオキシン類対策特別措置法に規定する水質基準対象施設の2種類があり、これらの特定施設を設置する事業場（特定事業場）から下水道へ下水を排除する際には、下水道法により水質の制限が規定されている。 ● 土木学会選奨土木遺産【どぼくがつかいせんしょうどぼくいさん】 土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的に（公社）土木学会が認定するもの。本市内にある明治30年代に築造され現在も使用されている煉瓦造りの下水道管は、その歴史的価値を認められ、平成22年度に土木学会選奨土木遺産に認定されている。 ● 取付管【とりつけかん】 各家庭から出た排水を下水道管へ流入させるため、公共ますと下水道本管を接続する管のこと。
の	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業集落排水施設【のうぎょうしゅうらくはいすいしせつ】 農業用水路の水質保全と農村の生活環境の改善を図るために農業集落における汚水または汚泥を処理するもの。 ● ノロウイルス【のろういるす】 急性胃腸炎を引き起こすウイルスの一属。発症すると激しい下痢を引き起こすことがあるため、下水道を介して公共用水域に放出されることがある。
は	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオマス【ばいおます】 生物資源（Bio）の量（Mass）を表す概念で、一般的には再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたものを指す。下水道では下水処理に伴い発生する下水汚泥がバイオマスにあたる。
ひ	<ul style="list-style-type: none"> ● BOD【びーおーでいー】 生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）のことで、溶存酸素存在のもとで、有機物が生物学的に分解され安定化するために要する酸素量を表す。水の汚濁状態を表す代表的な指標の一つ。 ● BCP【びーしーびー】 事業継続計画（Business Continuity Plan）のこと。災害発生時のヒト、モノ、情報及びライフライン等の利用できる資源に制約がある状況下においても、適切な業務執行を行うことを目的とする。 ● B-DASHプロジェクト【びーだっしゅぶろじえくと】 下水道革新的技術実証事業ともいう。新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト縮減、浸水対策、老朽化対策等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するために、国土交通省が実施する事業。
ふ	<ul style="list-style-type: none"> ● 不明水【ふめいすい】 雨天時に汚水管に浸入する雨水や、地下水位以下に埋設された汚水管の継手部や破損箇所等から常時浸入する地下水などのこと。不明水は公共用水域への未処理汚水流出や浄化センター・ポンプ場の維持管理費増加の原因になることから、その削減が求められている。
み	<ul style="list-style-type: none"> ● 宮城県上地下水一体官民連携運営事業【みやぎけんじょうこうげすいいたいかんみんれんけいいうんえいじぎょう】 宮城県が令和4年4月から導入を予定している事業で、上水道、工業用水道、下水道の水道3事業について、県が施設の所有権を保有したまま、施設の運営を一括して民間に委ねる事業のこと。本市下水道事業関連では仙塩流域下水道事業及び阿武隈川下流域下水道事業が対象となっている。

-
- ゆ**
- **遊休資産【ゆうきゅうしさん】** 企業が事業目的で取得した資産のうち、使用や稼働していない資産のこと。
 - **有形固定資産【ゆうけいこていしさん】** 将来にわたって経営活動のために利用される土地や建物，構築物（浄化センター・ポンプ場など），機械・装置（ポンプ設備・電気設備など），車両等のこと。このほか，固定資産には無形固定資産（借地権などの権利）と投資（有価証券など）がある。
 - **有収水量【ゆうしゅうすいりょう】** 下水道使用料の対象となる水量のこと。
-
- り**
- **流域治水【りゅういきちすい】** 気候変動による影響等を踏まえて，河川流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策のこと。
-
- れ**
- **レーダー技術【れーだーぎじゅつ】** 電磁波を対象物に向けて発射し，その反射波を測定することにより，対象物までの距離や方向を測る技術のこと。